

AXIS D1110 Video Decoder 4K

HDMI™ 出力付き4Kビデオデコーダ

この4Kビデオデコーダを使用すると、ライブビデオをシーケンスビューで表示し、マルチビューで最大8つのビデオストリームを表示できます。PC経由で接続せずにライブビデオを表示できる費用対効果に優れたソリューションです。HDMI™対応モニターで使用できるほか、音声の有無にかかわらず、広告や一般的な情報を表示することができます。さらに、PoE電源とDC電源の両方に対応し、迅速かつ容易に設置できます。

> HDMI™ 出力付き4Kビデオ

> PoEまたはDC駆動

> 音声出力

> シームレスなシーケンシングとマルチビュー

> 直感的なAxisインターフェース



AXIS D1110 Video Decoder 4K

システムオンチップ (SoC)	
モデル	i.MX8 QuadPlus
メモリー	RAM 2 GB、フラッシュ1 GB
ビデオ	
ビデオ圧縮	H.264/AVC (MPEG-4 Part 10/AVCベースライン、メインおよびハイプロファイル (Bフレームおよびインターレースレンダリングはサポートされていません)) H.265/HEVCメインプロファイル
フレームレート	解像度に応じて最大60フレーム/秒
ビデオストリーミング	VPU (ビデオ処理ユニット)で最大8つのストリーム
ビデオ出力	すべてのフォーマットで16:9: UHD 3840x2160 @25/30フレーム/秒 (50/60 Hz) FHD 1080p 1920x1080 @50/60フレーム/秒 (50/60 Hz) 1920x1080 @25/30フレーム/秒 (50/60 Hz) HD 720p 1280x720 @50/60フレーム/秒 (50/60 Hz) SD 720x576 @50フレーム/秒 (50 Hz) 720x480 @60フレーム/秒 (60 Hz)
音声	
音声出力	ライン出力、HDMI™ (ステレオ)
ネットワーク	
ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS、 ^a HTTP/2、TLS ^a 、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP ^o 、SNMP、v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTP、RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、DHCPv4/v6、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Syslog、リンクローカルアドレス (設定不要)、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR
システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX [®] 、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については axis.com/developer-community を参照)。ACAPにはNative SDKが含まれます ワンクリッククラウド接続
ビデオ管理システム	AXIS Companion、AXIS Camera Station、Axisのアプリケーション開発パートナーが提供するビデオ管理ソフトウェア (axis.com/vms で入手可能) に対応
イベント条件	IPアドレスの削除、ライブストリームアクティブ、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、システムの準備完了エッジストレージ; ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知 I/O: 手動トリガー、仮想入力 MQTT: ステートレス スケジュール、繰り返し: スケジュール
イベントアクション	MQTT: パブリッシュ 通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール SNMPトラップ: 送信、ルールがアクティブな間に送信ステータスLED: 点滅、ルールがアクティブな間に点滅
認証規格	
製品のマーキング	UL/cUL、UKCA、CE、KC、VCCI、RCM
サブライチャー	TAA準拠
EMC	
	CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2 オーストラリア/ニュージーランド: RCM AS/NZS CISPR 32 Class A カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A) 日本: VCCI Class A 韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A 米国: FCC Part 15 Subpart B Class A
安全性	IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 3
環境	IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP30
ネットワーク	NIST SP500-267
サイバーセキュリティ	ETSI EN 303 645
サイバーセキュリティ	
エッジセキュリティ	ソフトウェア: 署名付きファームウェア、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護 ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム セキュアエレメント (CC EAL 6+)、Axis装置ID、セキュアキーストア、セキュアブート
ネットワークセキュリティ	IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2) ^a 、IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS ^a 、TLS v1.2/v1.3 ^a 、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール
ドキュメント	<i>AXIS OS強化ガイド</i> <i>Axis脆弱性管理ポリシー</i> <i>Axisセキュリティ開発モデル</i> ドキュメントをダウンロードするには、 axis.com/support/cybersecurity/resources にアクセスしてください。 Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、 axis.com/cybersecurity にアクセスしてください
一般	
ケーシング	IP30規格準拠 アルミニウム製ケーシング カラー: NCS S 9000-N セキュリティスロット
取り付け	AXIS T91A03 DIN Rail Clip A、取り付けブラケット、VESA 取り付け穴パターンに対応
電力	Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at Type 2Class 4 10~28 V DC、最大17 W
コネクター	ネットワーク: RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE 音声: 3.5 mmライン出力、ステレオ 電源: DC入力ターミナルブロック USBタイプA ×2 SDカードスロット (ハイスピード/UHS-1) HDMI™タイプA ^b CEC対応
ストレージ	microSD/microSDHC/microSD UHS-1カードに対応
動作条件	0° C~40° C 湿度10~85% RH (結露不可)
保管条件	-20° C~65° C 湿度5%~95% RH (結露不可)
寸法	製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。
重量	500 g
パッケージ内容	ビデオデコーダ、インストールガイド、ターミナルブロックコネクター
オプションアクセサリ	AXIS Strain Relief TD3901、AXIS T91A03 DIN Rail Clip A、AXIS T8415 Wireless Installation Tool、AXIS Surveillance Cards その他のアクセサリについては、 axis.com/products/axis-d1110#accessories にアクセスしてください。
システムツール	AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリセレクター、レンズカリキュレーター axis.com で入手可能
言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語
保証	5年保証については、 axis.com/warranty を参照
製品番号	axis.com/products/axis-d1110#part-numbers で入手可能
サステナビリティ	
物質管理	RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018) に準拠 REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、 echa.europa.eu を参照

素材

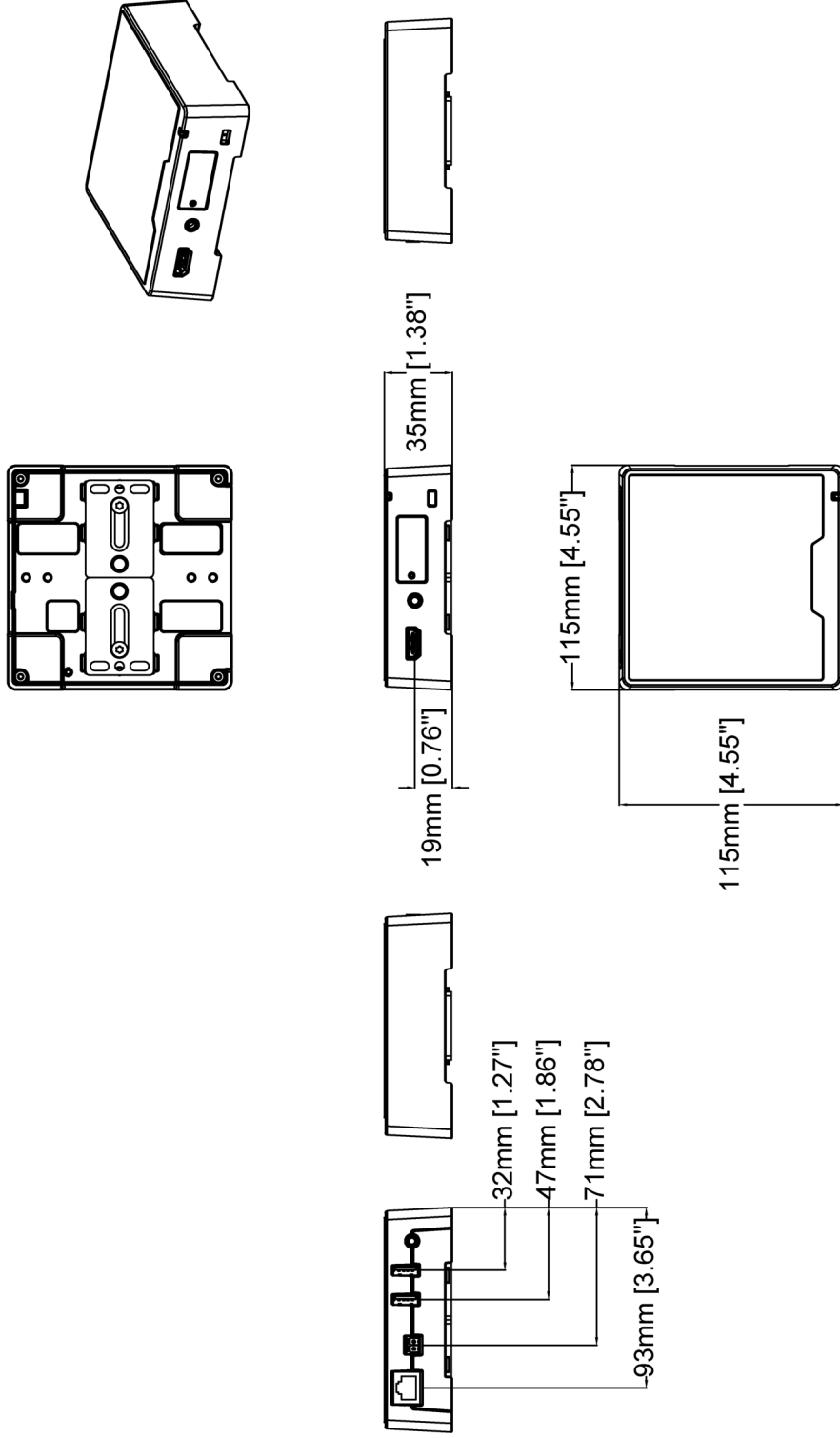
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、
axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてく
ださい。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です
(詳細については unglobalcompact.orgを参照)

- a. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- b. ATC認定、

寸法図面



AXIS D1110 Video Decoder 4K

Revision	v.01	Revision date	2021-06-07
Paper size	A4	Release date	2021-06-07
Created by	JSK	Scale	1:3

© 2021 Axis Communications

www.axis.com

主な機能とテクノロジー

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、工場からその完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。

信頼元の確立は、装置の起動プロセスから始まります。Axisの装置では、ハードウェアベースのメカニズムである**セキュアブート**が、装置の起動元のオペレーティングシステム (AXIS OS) を検証します。その結果、AXIS OSはビルドプロセス中に暗号で署名され、**署名付きファームウェア**となります。セキュアブートと署名付きファームウェアの組み合わせにより、装置のライフサイクル中にファームウェアが改ざんされていないこと、装置が承認されたファームウェアからのみ起動することが保証されます。これにより、すべてのセキュアな動作が依存する信頼の連鎖として、暗号技術で検証されたソフトウェアの連鎖が形成されます。

セキュリティの観点から、**セキュアキーストア**は、セキュアな通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアは、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。セキュリティ要件に応じて、Axisの装置は、TPM 2.0 (Trusted Platform Module) やセキュアエレメント、システムオンチップ (SoC) 内蔵のTrusted Execution Environment (TEE) などのモジュールを1つまたは複数搭載できます。

Axis Edge Vaultの詳細については、axis.com/solutions/edge-vault/にアクセスしてください。

詳細については、axis.com/glossary/を参照してください。